

令和8年度(2026年度)
宝塚市中学生体験活動週間

地域に学ぶ



トライやる ・ウィーク



「トライやる・ウィーク」の背景と趣旨

兵庫県の取組である、地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」は、平成7年(1995年)に発生した阪神・淡路大震災や平成9年(1997年)に神戸市須磨区で起こった世間を震撼させた事件をきっかけに、子どもの「心の教育」の充実を図るため、平成10年度(1998年度)から始まりました。

「トライやる」には、「トライ:挑戦する」とともに、学校・家庭・地域による連携を表す「トライアングル」という意味が込められています。

「トライやる・ウィーク」は、中学2年生が1週間学校を離れて、地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な社会体験活動を通して、豊かな感性や創造性などを自ら高め、自分なりの生き方を見つけることができるように、学校・家庭・地域が連携して支援するものです。

また、様々な社会体験活動を通して、地域に学び、共生や感謝の心を育みます。この取組を通じて、学校・家庭・地域が連携を深め、子どもたちを中心とした「地域コミュニティの構築」に発展することも期待されています。

—宝塚市の中学2年生がトライします—

普段、学校や家庭で体験できないことを地域の商店や工場、施設などの方々にご協力いただき、たくさんの方の生活を体験から学びます。



◆これまでの活動例

保育所や幼稚園

子どもたちのお世話をしたり、一緒に遊んだりします。子どもの成長を見守る嬉しさと、安全を守る大変さを学びます。

販売店

販売業務や、商品管理を行います。お客さんの立場に立って、気持ちよく買い物をしてもらうための工夫について学びます。

美容院

お店の準備や片付けを手伝います。相手の気持ちを考えて行動することや、働くときのマナーを学びます。

飲食店

配膳や片付け、簡単な調理を行います。周りを見て気づく力や、チームで協力して働く大切さを学びます。

消防署や警察署

人々の命や暮らしを守る仕事を見学・体験します。規律を守ることの大切さや、社会を支える責任の重さを学びます。

福祉施設

利用者の方とお話をしたり、レクリエーションで交流します。人とふれあう楽しさや、笑顔を大切にすることの大切さを学びます。

製造業

製品づくりの工程を見学したり、簡単な作業を体験します。物が完成するまでの工夫や、正確に仕事を進める大切さを学びます。

放送局や新聞社

制作や放送の仕事を見学・体験します。情報を正しく伝える大切さや、社会とつながる仕事のやりがいを学びます。

茶華道

作法を学びながら、実際に体験します。日本の文化の奥深さや、丁寧に取り組むことの大切さを学びます。

医療関係

医療の現場にふれます。人の心と身体の健康を支える仕事の責任や、相手を気づかう心の大切さを学びます。

動物関係

動物のお世話や施設の手伝いをを行います。命を大切にする気持ちや、責任をもって関わることの大切さを学びます。



◆いつ活動するの？

各学校が設定した5日の間、事業所を訪問して職業インタビューをしたり、地域の方と一緒に体験活動を行ったりします。その前後では、学校で目的を学んだり、活動を通して学んだことを話し合ったりします。

「トライやる・ウィーク」 総合保障制度について

この活動に携わる全ての生徒・指導ボランティアが加入する補償制度です。活動中に第三者の身体または財物に損害を与えた場合の『賠償責任補償』および、自身がケガをした場合の『見舞金制度』がセットになっています。

◆中学生だけで活動するの？

地域の方には、指導ボランティアとして活動を支援していただきます。

～新たな教育の創造を～

学校・家庭・地域が力を合わせて、未来を担う
子供たちの「生きる力」を育てましょう

《家庭で》

- 体験活動について家庭で話し合しましょう。
- 子どものよさを改めて見つけ、認めましょう。
- 指導ボランティアとして、参加してみませんか？

《地域で》

- 体験活動の機会や場を積極的に提供してください。
- 頑張りを温かく認め、必要に応じて厳しく指導してください。

生きる力

《学校で》

- 地域に開かれた、学校づくりを進めます。
- 子ども・保護者・地域にとって魅力ある学校をめざします。
- 地域の特色を生かした学校づくりを進めます。

生徒・保護者・受け入れ事業所へのアンケートから

【生徒より】

- ・私は、「トライやる・ウィーク」で人の役に立つことの大切さや、働くことの厳しさ、楽しさを学ぶことができました。一生忘れられない思い出になった。
- ・働いている大人を見てカッコいいと思い、あんなふうになりたいと思った。

【保護者より】

- ・この年齢での職業体験はとても貴重だと思う。進路や将来に向けて話し合う機会も増えたと思う。
- ・活動中のエピソードを聞くと、能動的に動けたのかなと、成長を感じた。

【受け入れ事業所より】

- ・将来の夢を持てるきっかけづくりになればうれしい。
- ・働くことの大変さや、仕事に対するこだわり、責任感、お客様に喜んでいただくために、という気持ちの大切さをわかってほしい。いろんな体験をして失敗してもいい。人生一生トライやるなんだ、をわかってほしい。

◆事業の進め方

宝塚市「トライやる・ウィーク」推進協議会

- 関係団体が協力して、事業の実施に向けて啓発や協力依頼をします。
- 活動場所や指導ボランティアの確保のための支援を行います。

中学校区推進委員会

- 学校長・PTA・地域団体代表などをつくる中学校区推進委員会を置き、施設や事業所などと連携して、活動場所や指導ボランティアの確保を行います。

指導ボランティア

- 保護者や高齢者など地域の人々や、商店や施設の関係者が指導ボランティアになり、学校との連携を密にしながら、生徒の活動に対して指導や支援にあたります。

◆宝塚市「トライやる・ウィーク」推進協議会の構成

自治会連合会、自治会ネットワーク会議、PTA協議会、商工会議所、商店連合会、宝塚ボランティアプラザzukavo、青年会議所、防犯協会、青少年補導委員連絡協議会、民生委員・児童委員連合会、社会福祉協議会、老人クラブ連合会、農業協同組合、農会連合会、造園緑化協力会、宝塚山本ガーデンクリエイティブ、自然休養村管理運営協議会、私立幼稚園連合会、中学校長会、教職員代表、教育委員会事務局

① 令和8年度の活動日程について

- ◇ 5/18～22 宝塚中学校・中山五月台中学校
- ◇ 9/7～11 安倉中学校・光ガ丘中学校・山手台中学校
- ◇ 9/14～18 長尾中学校・西谷中学校・御殿山中学校
- ◇ 9/28～10/2 宝梅中学校・高司中学校・南ひばりが丘中学校
- ◇ 10/5～9 宝塚第一中学校
- ◇ 6～7月ごろ たからづか支援学校

② 体験活動場所と指導ボランティアを募集しています。

令和7年度は、令和6年度に引き続き、生徒達が事業所等での活動を実施することとなりました。みなさまのご理解と協力があって生徒たちは貴重な体験をすることができました。

令和8年度についても、生徒を受け入れていただける地域団体・企業・商店・事業所・施設等や指導ボランティアをしていただける方を広く募っています。

中学生の貴重な学びの場として、ぜひともご協力お願いいたします。

「トライやる・ウィーク」の詳しい内容や受け入れ、ボランティア登録については、下記までお問い合わせください。

宝塚市教育委員会事務局 学校教育課【トライやる・ウィーク担当】
TEL：0797-77-2028 / FAX：0797-71-1891
mailm：m-takarazuka0112@city.takarazuka.lg.jp